

GNUでサイズ無制限! ルネサス e² studio で試す

第1章 世界の定番! 統合開発環境 Eclipse 入門

鈴木 友子

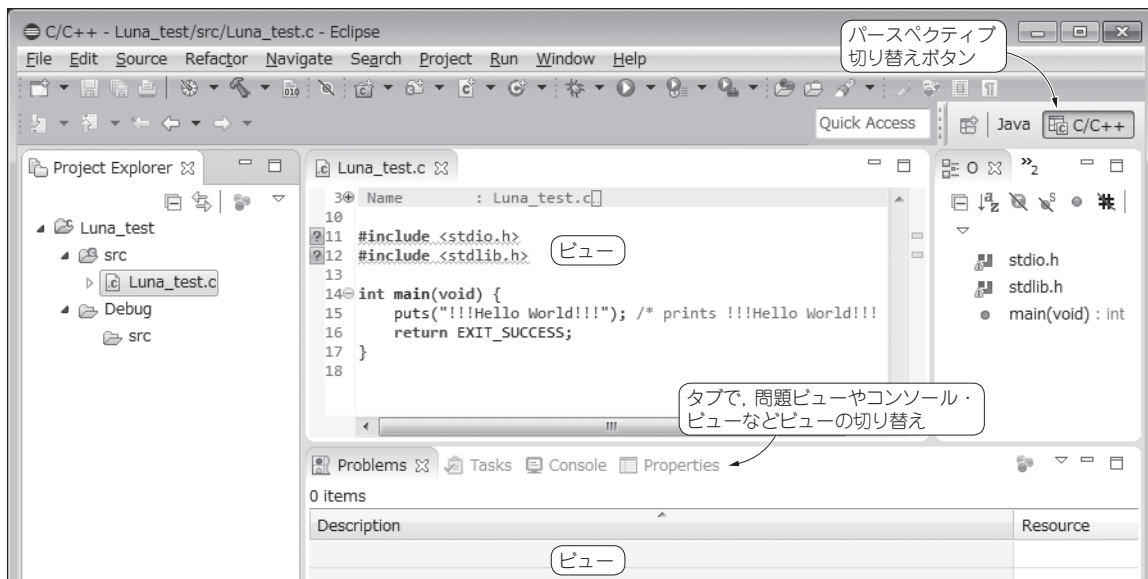


図1 世界の定番! 統合開発環境 Eclipse

パースペクティブはコーディング、ビルド、デバッグなど各開発フェーズで使うウィンドウ・レイアウトのこと

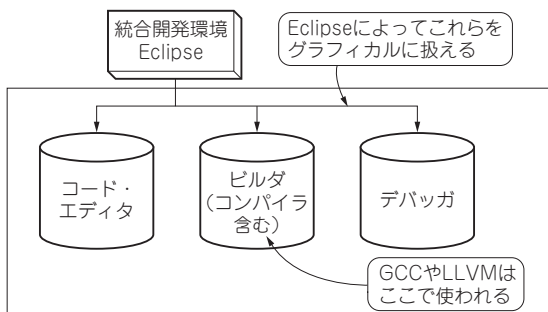


図2 Eclipseはコード・エディタ、ビルダ、デバッガをGUIで操作できる統合開発環境

イクリプス
Eclipseは、オープンソースの統合開発環境(開発ツール)です(図1)。コード・エディタ、ビルダ、デバッガ(図2)をグラフィカル・ユーザ・インターフェースで操作できる統合開発環境(Integrated Development Environment, 略してIDE)であり、その

IDE開発を行っているコミュニティを指す場合もあります。名前を聞いたことがある人は多いと思います。

Eclipseは、Java開発環境として1998年11月にIBM社グループ企業で開発が始まりました。2001年11月にオープンソース化され、現在ではC/C++言語など、さまざまなプログラミング言語に対応し、世界中の製品開発に使われています。

現在でもオープンソースの開発ツールとしてさらに機能拡張を続け、ソフトウェア開発者の開発時間短縮や開発費用の削減に貢献しています。特にアジア地域以外で利用者が確実に増えています。

Eclipseを使うメリット

- その1: 大規模な開発からワンチップ・マイコンまで使える

Androidを使ったスマートフォンやタブレットなどの携帯端末、テレビやセットトップ・ボックス家電な